

用途

植物性の骨材（植物繊維）入りの漆喰調ウォールペイント材です。比重が軽く厚塗りが可能なため、鍍（コテ）などを用い様々なテクスチャ（模様）を付け加えることができます。

使い方



1 「準備」

下地の種類や状況に応じて適切な下地処理を行います。（裏面参照）
また、事前に商品をよくかき混ぜます。



2 「下塗り」

Nr.321 を原液で塗装面の外周部分をハケで塗装し、ローラー等で全体を塗っていきます。
※工程1で Nr.505 を塗布した場合はこちらの工程を省略可能です。

3 「本塗り」

本製品の原液をコテ等で塗装します。
（塗布量の目安：1 m² / L）
最大5mmまでの厚みで様々なテクスチャーを作ることができます。通常、1回塗りで施工を完了します。

アウロTV

右のQRコードよりNr.311の使い方動画を見ることができます。



(you tube)

WEB サイト

右のQRコードよりNr.311のWEBページを見ることができます。



(WEB サイト)

注意事項

- ・容器内で乾燥した塗料の欠片が製品（液体）へ混入することがあります。必要に応じて網などでこしてから塗装してください。
- ・乾燥時間、必要量、基材および目地処理材への定着性、仕上がりの色等の事前確認をオススメします。
- ・専用着色顔料（Nr.330）を最大5%混ぜることにより着色することが可能です。本製品を着色して使用する場合は、下塗り材として使用するNr.321も同じ色にしておくことをオススメします。
- ・本製品は原液でご使用ください。塗布量の目安：1 m² / L（1 L / m²）
- ・乾燥時間の目安：表面乾燥は早くても24時間 ※低温または高湿度では乾燥が遅延します。下地の種類や塗り方によって変動します。
- ・スプレー塗装を希望の方はお問い合わせください。
- ・本製品の塗装面に粘着物（セロテープ、マスキングテープ、ラベル・シール、糊、接着剤等）は使用できません。粘着物を使用しますと塗装が剥がれる場合があります。

以下、ウォールペイント（Nr.321/311/330/301/505）共通の注意事項

- ・推奨施工環境は10℃～30℃、湿度40～70%以下です。「部屋の温度」に加え「塗料（本製品）」「塗布される材料（例：プラスターボード等）」も同様の温度になっているよう準備してください。（冬場は特に注意）
- ・必要に応じてマスキング作業を入念に行ってください。
- ・使用前によく攪拌してからご使用ください。また使用中も時折かき混ぜてください。
- ・内容成分が確実に混ざり合っていないと塗膜の剥がれや色ムラの原因になります。
- ・室内専用の製品です。室内でも水蒸気や液体の影響を受ける場所（浴室・水回り等）には使えません。
- ・製品が変質を起こさないよう他の製品や物質を混合しないでください。
- ・必ず全ての塗装面（下地）に対し、目立たない箇所でも試し塗りをを行い、異常のないことを確認してから作業を開始してください。
- ・安全性の高い製品ですが目や皮膚を保護し、付着した場合は直ぐに水で洗い流し、違和感がある場合は早めに医師にご相談ください。
- ・全工程で、塗装面を湿気や直射日光、埃に晒さないでください。また製品は直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ・乾燥を促すため、作業中および乾燥工程では、じゅうぶん換気を行ってください。（強制乾燥禁止）
- ・下地の処理や調整には知識や技術、経験が必要です。状況に応じて専門家の指導を仰ぐなどしてからご使用ください。
- ・塗装後の壁面に水分や油分を与えますと変色につながる恐れがあります。
- ・やむをえず液体を処分する場合は弊社で無償処分いたします。お問い合わせください。
- ・保管は確実に密栓し子供や認知症の方などの手の届かない冷暗所にて。（作業中も要注意）
- ・品質保持期限は未開封にて購入から2年間です。




裏面へ

下地調整 (Nr.321/311/330/301/505 共通説明)

「下地条件」

- ・下地は、清潔且つ乾燥した状態で、化学的に中性で安定しており、吸水性がある状態でなければなりません。土、砂、油脂、皮脂、粘着物、レイトンス、パテの削りカス、その他汚れ等が付着していないことを入念に確認してください。
- ・塗装面が強いアルカリ性を示す場合は塗装後にチョーキングを起こす恐れがあるため、中性になるまで時間を置かずか中性化してください。
- ・強度のないもろい壁面、やわらかい壁面（布クロスなど）には塗布できません。下地のヨレ、たわみ、変形等は壁面のヒビ割れや剥がれを引き起こします。
- ・塗装面にキズ、穴、継ぎ目、ひび割れ、凹凸等がある場合は、必要に応じて適切な材料で補修してください。
- ・意図しない部分にペイント材が付着した場合は、できるだけ早めに水で洗い流すか濡れたタオルで拭き取ってください。
- ・木材へ塗布することはできません。木材へ塗布する場合は Nr.260 をご検討ください。

「下地材別プライマー」

プライマー 下地材	Nr.301 	Nr.329 	Nr.505 
プラスター（石膏） ボード	○		
レンガ	○		
砂壁	○ 砂の粒子が細かい	○ 砂の粒子が荒い	
壁紙			○
コンクリート			○
その他			○

*壁紙へ塗布

- ・塗装下地用壁紙は直接 Nr.321、Nr.311 の塗布が可能です。
- ・壁紙の上に塗布する場合は、既存壁紙の定着力（特に継ぎ目・角・隅）をよく確認し、必要に応じて補強してください。その際、余分な粘着成分は除去し、完全乾燥させてください。

*その他の下地

- ・下地素材が不明な場合、および吸水性のない既存塗装面（ウレタン塗装面、ラテックス塗料面、ラッカー塗装面など）の上には Nr.505 を下塗りしてください。
- ・下地に様々な材料が入り組んでいる場合（例：石膏ボード＋壁紙、石膏ボード＋既存塗装、クロス＋コンクリートなど）には Nr.505 を下塗りしてください。